

# 令和 8 年産みえの麦生産改善技術情報 第 4 報

**赤かび病が多発するリスクが高まっています！必ず複数回防除を！**

**赤かび病の発生は「多い」予報です！**

- ・病害虫発生予察予報 (令和8年4月23日付け三重県病害虫防除所) によると、コムギ赤かび病について、**発生量は「多」、要防除ほ場率は「高」と**されています。

発生量 (平年比)	発生時期		要防除 ほ場率 平年比	発生消長の一例			
	平年比	程度		4月		5月	
				下旬	上旬	中旬	下旬
多	早	大	高	感染		発病程度	



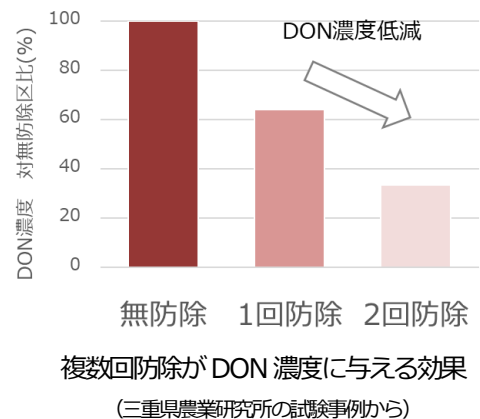
病害虫発生予察予報  
第1号

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001253366.pdf>

- ・赤かび病が発生すると粒が細くなり減収につながるだけでなく、かび毒 (デオキシノバレノール：DON) が産生され、人体に悪影響を及ぼします。
- ・そのため、食品衛生法により DON の基準値 (1.0mg/kg) を超えた麦は食用として流通することができません。
- ・気象庁 1 カ月予報 (名古屋地方気象台) では、今後 1 カ月の気温は高く、晴れの日が少ない予報と、今後も**感染・DON濃度上昇に好適な条件 (高温、降雨) が続く恐れ**があります。

**必ず複数回防除を実施してください！**

- ・複数回防除により、DON 濃度は低減します。
- ・現在、1 回のみの防除となっている圃場は、**必ず複数回防除**を実施してください。



**生産履歴を記帳、提出してください！**

- ・生産履歴管理記録は、収穫前に集荷事業者 (JA) に必ず提出してください。

令和 8 年 4 月 30 日  
三重県産麦生産改善技術対策会議